

【西神戸 初秋の風物詩 写真album】
 毎年 彼岸花が咲きだすと原チャリを走らす
 東播磨加古川添いに広がる田園地帯
 2019年東播磨の初秋を訪ねる 2019.9.25



- ◇ 西神戸 神出の里 実りの秋を迎え 一面黄金色の田園
- ◇ 小野アルプス南山麓の田園 志方・福匂峠 棚田の秋
- ◇ 小野アルプス北山麓の田園 小野市きすみ野 一面真っ白の蕎麦の花
- ◇ 東播磨 妙見山麓に広がる田園 多可町間子の里の彼岸花
- ◇ 東播磨 加東市木梨の里 剣菱が守り育てる酒米「愛山」の栽培地



2019.9.25. 1910earlyautumn00.htm by Mutsu Nakanishi

酷暑・台風・集中豪雨の夏が過ぎ、朝夕爽やかな秋の風
 季節感が2週間ほど遅れているかのような気がしていますが、
 赤とんぼが天空を舞い、眺める須磨の海も遠くまで空澄み渡る秋景色
 一面黄金色の畦に彼岸花も咲き始めて、実りの秋を告げ、
 西神戸伊川谷の清水さんちからもうれしい新米が届く
 戸外に飛び出して Happy Autumn 今を元気に!!

毎年 彼岸花が咲きだすと原チャリを走らす東播磨の初秋
 東播磨2019初秋の風物詩を写真Albumに



東播磨の里の初秋を飾る風物詩



Happy Autumn いろいろ楽しみをめぐらす秋 戸外に飛び出すのもよし 今を元気に

【西神戸 初秋の風物詩 写真album】
 毎年 彼岸花が咲きだすと原チャリを走らす
 東播磨加古川添いに広がる田園地帯



2019年東播磨の初秋を訪ねる 2019.9.25.



- ◇ 西神戸 神出の里 実りの秋を迎え 一面黄金色の田園
- ◇ 小野アルプス南山麓の田園 志方・福匂峠 棚田の秋
- ◇ 小野アルプス北山麓の田園 小野市きすみ野 一面真っ白の蕎麦の花
- ◇ 東播磨 妙見山麓に広がる田園 多可町間子の里の彼岸花
- ◇ 東播磨 加東市木梨の里 剣菱が守り育てる酒米「愛山」の栽培地



By Mutsu Nakanishi from Kobe



西神戸 実りの秋 伊川谷の里で 2019. 9.25.





今年も酷暑と台風・集中豪雨が各地を襲い、西神戸・東播磨にも警報が何度も出ましたが、さいわい大きな被害も出ず、さわやかに吹き渡る風が一面黄金色になった田園を黄金の波を巻き起こしながら渡ってゆく。
少し遅れましたが、真っ赤な彼岸花も咲き出しいつもの秋景色。

1. 西神戸 神出の田園地帯から西へ 加古川市上荘から福匂峠を越えて 小野市きすみ野へ 福匂峠から眺めるきすみ野 秋の棚田と紅山山麓を真っ白に染める蕎麦畑



西神戸の神出の里から西へ神出の里から加古川の土手に出て、上荘橋を渡り、小野市へ 麓 この時期 彼岸花と一緒に小野市へ 山麓にひろがるきすみ野の蕎麦畑を目指す。

実りの秋を迎えた田園と山麓にひろがる蕎麦の白い花。

清楚な小さな花 畑一面真っ白に広がる曾場畑は土筆い秋景色。花が小さいので、一つ一つ見ることはあまりないのですが、写真に撮っておおきくすると白い清楚な花が浮かんで見える。荒地や休耕田にほんっとも育つというのですが、この白い花 美しい。今年のお目当ての一つ。花言葉を調べると「懐かしい想いで」。

のんびりと畑の蕎麦に座って 蕎麦の花が咲く田園風景を楽しむのが毎年の楽しみ。



私にはこの蕎麦の花と時期がもう少し後になりますが、丘一面を染める真っ白な野路菊を眺めるのが好き。
老いゆく歳を迎え、ぼんやりと色々思いめぐらしながら、周囲の秋景色を眺めて時を過ごす。



小野川ﾌﾟｽ紅山の小さな枝尾根のくぼ地一面を真っ白に染める白い花。今年はぜひ出会いたかった景色でした。
すぐ近くの JR 小野町駅の駅そばで昼を取るのですが、残念ながら休み。
でも 今年はきれいな蕎麦畑の写真がとれて 想いもひとしお。





2019.9.25、東播磨・小野アルプス北麓のきすみ野に広がる蕎麦畑



小野アルプス北麓のきすみ野の蕎麦畑とJR加古川線が野町駅 2019.9.25



2019 東播磨の初秋を彩る蕎麦の花
花言葉は懐かしい思い出

Happy Autumn 今を元気に



東播磨 小野アルプス北山麓 小野市 きすみ野で 2019.9.25.

By Mutsu Nakanishi from Kobe

2.. 北播磨 妙見山山麓 加古川に合流する杉原川域多可町の間子の里に咲く彼岸花を訪ねる
小野から R175 沿いの広い田園地帯を北にぬけ、滝野・社 IC から西脇の街を抜けて多可町へ



2019.9.25、国道175号線沿いの北の妙見山山麓多可町間子の里の途中
加東市周辺で 西側、南北に延びる丘陵を背に田園に山田麓の嵐が巻く



コンビニのアンパンをほうばりながら、実りの秋を迎えた加古川添いに広がる田園地帯を北へ抜けて、
西脇市の奥 加古川に合流する杉原川域多可町の間子の里に咲く彼岸花を訪ねる。

この多可町はすぐ北はもう中国山地で、田園地帯が広がる街の北側中央にどつしり妙見山がそびえ、両側を山にはさ

まれ、南に広がる田園地帯。最近是三木市吉川や加東市とならぶ兵庫の酒米「山田錦」の産地として有名で、実りの秋には酒米の里の旗が翻り、真っ赤な彼岸花が畦を飾る知る人ぞ知る彼岸花の里。間子の里では畦や集落の田舎道にも彼岸花が咲く小さな里。一時は観光化してちょっとと・・・・・・としましたが、今はまた落ち着いた彼岸花の里景色が楽しめる風情に。また、どっしりと構えた妙見山に出会えるのも楽しみ。西脇の街から山間を通り抜ければ、正面に妙見山が姿を現し、多可町の田園地帯に入る。と道すがら、黄金色一色の田園のあちこちに真っ赤な彼岸花が咲き、遠く黄金色の波が渡る向こうに旗がいくつも翻っている。東播磨の初秋の風物詩 ごくありふれた田舎の風景ですが、心惹かれる景色です。妙見山の名前が示す如くこの地は生野から東へ銅鉾脈地帯の中にあり、この山からも古くから銅を採取した採銅所。妙見山の南麓には古墳が連なり、古代から開けた重要地で、かつては西脇の野村町から多可町の中心鍛冶屋まで JR 鍛冶屋線が走っていた。随分訪れていないような気がするか、原チャリを走らすと道筋が何とはなしにわかる。



かつての人波が去って ゆったりと集落の中を歩いて、すぐそばまで近寄って 花を一人占めです。思い思いのアングルで撮影できる楽しみ。随分白い彼岸花がふえたようだ。



以前より、この妙見山の銅採掘が見直され、もう少しきっちりレビューされはされればいいのになあ・・・
 の想いがあり、久しぶりに一番奥 妙見山の登山口にある北播磨余暇村公園に立ち寄って帰る。
 ここには古い採銅所跡の遺構がそのまま残り、銅の南蛮吹きについても展示があったと記憶しているのですが、
 ちょうど係の人が出払っていて、展示場の中へ入れずでした。



良く晴れた心地よい日に 堂々とした妙見山 そしてその山裾 多可町間子の里の彼岸花や里風景が見られて満足感一杯。 新聞やニュースで聞かなくなって どんなふうになっているのかなあ・・・と思っていましたが、一安心。 田園地の北の妙見山側から南の間子集落を眺めながらもと来た道を国道 175 号西脇へ戻ってる。 まだ 時間もあり、帰り道 中国道 滝野・社 IC のすぐ東 酒米の里加東町木梨の里に立ち寄って帰る。

3. 帰り道 中国道 滝野・社ICのすぐ東 酒米の里加東町木梨の里に立ち寄って帰る
剣菱が守り育てた幻の酒米「愛山」の栽培地 剣菱の旗が実りの田に幾本も翻る



今日は北からの帰り 中国道 滝野・社ICとR175のクロスからすぐ東に折れて、三草山の麓から木梨の里に入る。中国道のガードをくぐるとパッと木梨の里の田園地帯が広がり、剣菱の旗が黄金草山の麓から中国道をクロスして色の波の中に見える。ことしもうまい酒が飲める。
うれしい酒米「愛山」の里の秋です。

中国道沿いの加東市から三木市
吉川にかけては兵庫県産の酒米
「山田錦」の名産地。

初秋実りの秋を告げる酒蔵の旗
が他の畦に幾本も翻り、東播磨に
実りの秋を告げる風物詩。

中国道滝野・社ICのすぐ東にあ
る加東市木梨の里は里人と灘の
酒蔵剣菱が守り育てた幻の酒米
「愛山」の栽培地としても良く知
られる。

たわわに穂った稲穂の畦を飾る
彼岸花の風景が美しい事もあっ

て毎年この時期訪れる酒米の郷です。今年はどうも 畦を飾る彼岸花が遅れているようだ。





真っ青な空に流れる秋の雲が美しい一日 原チャリで駆けまわった一日ですが、東播磨の美しい初秋の風景に出会えました。 真っ赤な彼岸花と黄金色の田園に波を起こしながら渡る秋の風 小野市きすみ野の満開の蕎麦畑 久しぶりに訪ねた多可町の妙見山と間子の里の彼岸花。これで やっと夏から秋の切り替えが出来ました。うれしい秋のいた日でした。

想いをめぐらす秋 ひとそれぞれに Happy Autumnへ 戸外に飛び出すのもよし 今を元気に

